

令和元年度 第1回東員町まち・ひと・しごと創生懇談会 主な意見

日時：令和元年12月23日（月）午前2時～

場所：西庁舎2階 201～202会議室

1 基本事項の確認について

○東員町まち・ひと・しごと創生懇談会の委員変更による懇談会の趣旨説明及び今後の人口増減の推移の説明を行ったが意見などは特になし。

2 総合戦略の平成30年度実績による効果検証、今後の総合戦略及び効果検証について

○東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略は1年延長だが、そのことによるKPIの算定方法は。

（回答）策定した年の基準値をベースに6年計画として再策定して設定している。

○県外からの移住者が目標を上回っている最大の要因はなにか。

（回答）1つに特化したものではなく、子育てしやすい環境、公園に近い、市街地に近いことや大型商業施設があることなど総合的に評価をいただいていると考えている。

○ミニ開発や子育て支援が手厚いことは理解したが、職住近接との因果関係はどうか。

（回答）仕事がないと転入することも難しいと考えている。職住近接に関してのアンケートまでは実施していない。

○東員町の空き家を調べようとしてホームページなどで空き家バンクを見ていたがいつ見ても更新されていない。在来地区では空き家が多い気がするが空き家バンクの登録は1件もないので登録が増えるような工夫をすべきでは。

（回答）担当課へ報告する。

○オレンジバスの利用者数が減少傾向であるが令和2年度に目標達成できる見込みなのか。

（回答）初期値を設定した前年度に町内に大型ショッピングセンターが建設されたことから数値が大きくなっている。その後、ルート改正を行ったため減少し現在は少し持ち直しているという現状。令和2年度の目標値を達成できるよう諸対策を講じる。

○見守りネットワーク協力団体数が伸びているが具体的にどこが登録しているのか。

（回答）金融機関や商店が主だと聞いている。もう少し細かいところは担当課へ確認する。

3-1 地方創生交付金事業加速化交付金の効果検証について

○指標④の地域の新産業創出件数について、なかなかすぐにはできるものではないということだと思われる。またどのような状態で創出とするか決めておく必要がある。

効果検証に対する評価

1の事業の評価としては指標④を除きおおむね達成できていることから「■総合戦略のK P I達成に有効であった。」と評価し、またこの事業についても同様とする。事業の今後としては「事業の継続」とする。

3-2 地方創生交付金事業拠点整備交付金の効果検証について

○子育て世代ではないので保健福祉センターを利用していないため評価が難しいと感じる。

効果検証に対する評価

事業の評価としては指標①、③が目標より下回って推移しているが指標②の子育て世代の移住世帯数は順調に推移していることから「■総合戦略のK P I達成に有効であった。」と評価し、事業の今後としては「事業の継続」とする。